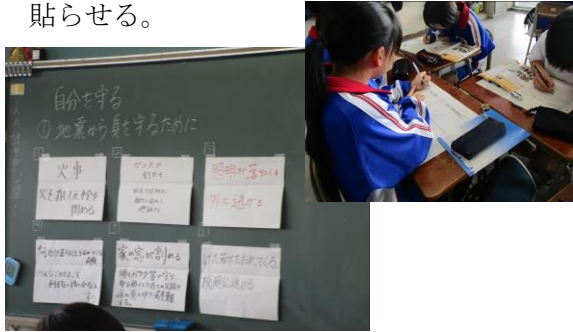


<p>中学校 2019年度版 教科・領域名 学校行事</p>	<p>単元名 自分を守る 時間 50分</p>	<p>P36</p>
<p>主な学習活動（実際に行った活動）</p>	<p>指導の実際</p>	
<p>【ねらい】東日本大震災の経験をふまえ、地震が起きた時に、どのように身を守り、避難すればいいのかを学ぶ。</p> <p>1 地震が起きた時、どのような危険が予想されるのか、P36①～⑥の写真の場面を見て、グループで考える。</p> <p>2 1で予想した危険に対して、どのように行動すれば良いか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事→火を消して元栓を閉める ・窓が割れ落ちてくる→頭を鞆で守りながら離れる ・照明が落ちてくる→外に逃げる ・下駄箱が倒れてくる→校庭に逃げる <p>3 各班の発表を聞き、地震が起きた時の行動を考える。また正しい行動を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火の近くにいても、大きな揺れの場合は危険なため、揺れがおさまってから消すようにする。 ・地震による建物のゆがみが心配なことから、ドアを開けて出口を確保する。 ・ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒のおそれがあることから、近くから離れ避難する。 <p>4 2や3の内容をふまえ、校舎配置図に、自分のいる教室や特別教室から校庭までの最適な避難経路を考え、書きこむ。</p> <p>5 本時の振り返りや感想をワークシートに書く。</p>	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災副読本 ・所属校の校舎配置図 ・ワークシート ・仙台市HP「防災・災害対策、地震が起こったら」 <p>○6場面の写真を6つのグループで分担し、危険が潜んでいるところに○をつけさせる。（できる限り○をつけさせる）</p> <p>○紹介する行動を1つ選ばせ、紙に書き黒板に貼らせる。</p>  <p>○適切と考えた行動を発表させる。</p> <p>→「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」の原則で、安全な場所に身を寄せることを指導する。</p> <p>→仙台市HP「防災・災害対策、地震が起こったら」の内容を紹介する。</p> <p>○自分の学校の廊下や通路の幅、校舎間の幅、段差やすのこの存在にも注意させながら避難経路を考えさせる。</p> <p>●生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前にどのように行動すれば良いのか話し合っておくことがとても大切だと思った。 ・もし避難することがあっても、冷静な判断をするようにしたいと思った。 	

第4章 2 自分を守る

組 番 氏名

地震から身を守るために

1 地震が起きた時、自分を守るために、どのように行動すればいいと思いますか。

2 副読本の写真を見て、どこに危険が潜んでいるか予想し、どのように行動すればいいか考えよう。

写真	予想される危険	どのように行動すれば良いか
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

3 今日の授業を通して考えたことを書こう。
